

令和4年7月28日

報道関係 各位

名古屋市立大学芸術工学部事務室

事務長 水野 幹夫 電話: 052-721-1213



令和4年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
ヘルスケアアート活動をつなぐオンラインネットワークの構築
ヘルスケア・アートマネジメント講座等の開催について

名古屋市立大学より文化庁の「令和4年度大学における文化芸術推進事業」に応募しました「ヘルスケアアート活動をつなぐオンラインネットワークの構築ーコロナ社会の医療福祉環境改善に資するアートマネジメント人材育成ー」が採択されました。

令和3年度より開始した、日本全国を対象にしたヘルスケアアート活動(医療福祉施設等の場において患者やスタッフなどの不安とストレスを解消し人間性を取り戻すためのアート)をつなぐオンラインネットワークの構築事業の2年目にあたる今年度は、救急医療の現場で生じている課題解決のための研究会や、国を挙げて文化芸術活動を展開する北欧デンマークでの「ヒュッゲ」の概念を学ぶ学習会を下記の通り開催し、ヘルスケア・アートマネジメント人材育成の足がかりを築きます。

医療系・人文社会系・芸術工学系を擁する本学の人材と、20年以上にわたる芸術工学部でのホスピタルアートの実績を活かし、医療福祉環境の向上を目指すヘルスケア・アートマネジメントのモデルの全国への普及・発信を目指します。本事業を広く知っていただきたくご案内いたしますとともに、ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いたします。

記

- 1 開催期間 令和4年8月1日(月)～令和4年12月7日(水)
※詳細は別添をご参照ください。
- 2 実施方法 オンライン形式
- 3 申込方法 なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト WEBサイト
(<https://healthcare-art.net>) からお申込みください。
- 4 参加費 無料(ただし、通信料は自己負担)
- 5 取材申込 事務局担当者までメールにてご連絡ください。
※取材希望日の2日前(土日祝日を除く)までにご連絡願います。

以上

【お問い合わせ先】

〒464-0083 名古屋市千種区北千種2丁目1-10

名古屋市立大学芸術工学部事務室

電話 052-721-1225

E-Mail healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp

ヘルスケアアートについての参考資料

HEALTHCARE ART

ヘルスケアアートの導入にあたっては、医療福祉施設スタッフやアーティスト、建築設計担当者など複数の関係者との協力や調整が必要となります。そのマネジメントのできる人材の育成を目指し、中面でご案内したような事業を実施しています。その他、ヘルスケアアートに取り組む際の参考になるようなWebサイトや小冊子などを作成しましたので、下記にご紹介します。

「ヘルスケアアート事例集」サイト healthcare-art-works.com

ヘルスケアアートの多様な事例を紹介しています。キーワード検索やカテゴリー、タグから事例の絞り込みができます。事例の投稿も随時受け付けています。



ヘルスケアとアート、そのマネジメントを考える小冊子 01-04 healthcare-art.net/case/booklet.html

2018~2020年度に4冊の小冊子を発行しました。すべてHPからPDFデータをお読みいただけます。

- 01 「子どもにやさしい療養環境」
- 02 「雲安室とケア」
- 03 「英国のヘルスケアアートとマネジメント」
- 04 「ヘルスケアアートの先駆的実践と理論」

なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクトとは

2018-2021年度の4年間、「文化庁 大学における文化芸術推進事業」に採択をいただき、医療系・人文社会系・芸術工学系を擁する名古屋市立大学の人材と、20年以上にわたる芸術工学部でのヘルスケアアートの実績を活かしつつ、ヘルスケア分野におけるアートマネジメント人材の育成やその有用性の啓発を目指し、連続講座やシンポジウム、ワークショップを開催してきました。今年度も引き続き採択をいただき、オンラインネットワークの構築を試みながら、医療福祉施設へのアートの企画提案やデジタル分野の連続講座、北欧のヒュッゲからヘルスケアアートを考える学習会などを実施していきます。詳細は事業HPをご参照ください。これまでの講義録や事業の活動報告、今後の事業予定なども掲載しています。



なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト事務局
〒464-0083 名古屋市千種区北千種2-1-10 名古屋市立大学芸術工学部内
E-mail: healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp
HP: <https://healthcare-art.net> FAX: 052-721-3110

ヘルスケアアート宣言 2022

健康で持続可能な社会と人々の
ウェルビーイングを目指し、
アートを活用しようとする熱い想いと
小さな実践の価値をお互いに認め合い、
ともに大きなうねりを生み出しましょう。

本事業を通して、この分野に対する関心の高まりを感じるとともに、各地の実践者・関係者の皆さんとの交流が生まれました。こうした全国的な盛り上がりやつながりを受け、2022年2月に開催した全国サミットに合わせ、「ヘルスケアアート宣言 2022」を発表しました。

ヘルスケアアート宣言賛同者募集 /

この宣言に賛同いただける方を募集しています。全国各地のさまざまな方が実践や応援をしていることをMapやグラフで紹介します。ぜひご協力ください！



2022年2月に146名の賛同をいただきました。

もっと アートでケア環境を元気に!!

参加無料
要申込
オンライン開催!
全国から参加できます

ヘルスケア・アートマネジメントを学ぶ講座&ワークショップ&学習会のご案内

ヘルスケアアートとは、健康で持続可能な社会と人々のウェルビーイングを目指し、アートを活用して医療福祉施設などの環境ストレスを軽減し、人々の絆と生きる力を引き出す取り組みです。本事業では医療や福祉の分野でアートマネジメントができる人材育成を目指し、連続講座やワークショップ、学習会を実施します。全国からのご参加お待ちしております！

1 学習会・公開講座

8/1~12/5 |月|

ヒュッゲ

北欧の「HYGGE」と
事例からヘルスケアアート
を考えよう!

2 研究会・報告会

9/7~12/7 |水|

救急医療の
ヘルスケアアート
を考えよう!

3 連続講座

9/30~12/2 |金|

デジタル分野
のヘルスケアアート
を学ぼう!



スウェーデン セント・ヨラン病院のアートプロジェクト (赤羽美和)

フィンランドの高齢者施設 (河東梨香) 病院でのデジタルアート Art dans la cité

星つむぎの村 出張プラネタリウムの様子 (高橋 真理子)



1 ヒュッゲ 北欧の「HYGGE」と事例からヘルスケアアートを考えよう!

学習会 8/1~10/24(月) 定員30名 申込締切7/28 全5回

①8/1, ②8/22, ③9/12, ④10/3, ⑤10/24(月) 19:00-21:00

HYGGEから考えるヘルスケアアートとウェルビーイング

HYGGEとは「心地よい時間」や「やすらぎ」等を意味する北欧デンマークの言葉で、この学習会では世界的ベストセラーとなった書籍『THE LITTLE BOOK OF HYGGE』の日本語版を読みながら、ヘルスケアアートが目指す「ウェルビーイング」について考え、対話をしていきます。

※参加される方は『ヒュッゲ 365日「シンプルな幸せ」のつくり方』(マイク・ヴァイキング著、三笠書房)を、お手元にご用意ください。

※講義形式ではなく参加者の皆さんとの対話をメインに進めます。



使用する書籍



森口 ゆたか

(美術家 / 近畿大学文芸学部文化デザイン学科教授 / NPO 法人アーツプロジェクト副理事長)

英国でのホスピタルアートとの出会いから、2002年に団体を立ち上げ、関西を中心に多くの病院でホスピタルアートの企画・実施に携わる。

公開講座 11/14・12/5(月) 定員80名 申込締切10月末 全2回

北欧の医療福祉や文化について具体的な事例を交えてお話をうかがいます。

※前半の学習会に参加していない方も聴講可能です。

【第1回】11/14(月) 19:00-21:00

スウェーデンの病院におけるアートの実践とマネジメント



赤羽 美和 (アートディレクター/グラフィックデザイナー/イラストレーター)

広告制作に従事後、スウェーデンに留学しテキストデザインを学ぶ。セント・ヨーラン病院のアートプロジェクトでは医療スタッフとの「対話のドローイング」ワークショップを取り入れパターンアートを制作した。

Torunn Skoglund トールン・スコグランド
(ストックホルム県職員 アート部門プロジェクトマネージャー)

【第2回】12/5(月) 19:00-21:00

北欧の医療福祉空間とHYGGEから考えるデザインやアートの役割



河東 梨香 (tona 代表 / デザイナー / 医療福祉ビジュアルディレクター)

日本人の父とデンマーク人の母の間に生まれ、スウェーデンや日本などで過ごした経験を生かし、医療福祉分野をはじめ幅広い領域で色と素材感を大切にしたものづくり・空間づくりを実践している。

2 もっと アートでケア環境を元気に!!

NAGOYA HEALTHCARE ART MANAGEMENT 2022

ヘルスケア・アートマネジメントを学ぶ講座&ワークショップ&学習会のご案内

参加すると全国からの参加者や講師・運営メンバーと情報交換などもできます!

2 救急医療のヘルスケアアートを考えよう!

研究会 9/7~12/7(水) 定員15名 申込締切8月末 全5回

①9/7, ②9/21, ③10/12, ④11/9, ⑤12/7(水) 19:00-21:00

救急医療という現場の特性やアートを導入する際の要件や課題、可能性を考える研究会です。事例や実践者の話から、アートでどのような問題が解決できるか、マネジメント人材が担う役割、企画提案等を整理することで、救急医療におけるアート導入の参考資料を導き出します。 ※応募者多数の場合、救急医療の経験(施設関係者・患者・付き添い)等を踏まえて選考する場合がありますので、差し支えない範囲で応募動機にお書き添え下さい。

<講師・ファシリテーター・アドバイザー>
岩田 祐佳梨 (NPO 法人チア・アート 理事長)
篠原 佳則 (建築家、NPO 子ども健康フォーラム)
鈴木 賢一 (名古屋市立大学 教授)
高野 真悟 (アーティスト)
松嶋 麻子 (名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 救急科 医師)
由井 武人 (京都芸術大学 ホスピタルアートプロジェクト「HAPii+」担当講師、画家)

報告会 12/7(水) 定員80名 申込締切11月末 全1回

12/7(水) 19:00-21:00 研究会の成果を報告します。どなたでも参加できます。



岩田 祐佳梨



篠原 佳則



高野 真悟



由井 武人

3 デジタル分野のヘルスケアアートを学ぼう!

連続講座 9/30~12/2(金) 定員80名 申込締切9/27 全6回

①9/30, ②10/7, ③10/21, ④11/11, ⑤11/18, ⑥12/2(金) 19:00-21:00

ヘルスケア分野におけるデジタル技術を用いたアート事例について、国内外の実践者による講義をうかがい、その可能性を考えます。

【第1回】9/30(金) 看護ケアを担うデジタルアート

吉岡 純希 (NODE MEDICAL 代表 / 看護師 / デザインエンジニア)

【第2回】10/7(金)「病院がプラネタリウム」の実践と展開

高橋 真理子 (星つむぎの村)

【第3回】10/21(金) 芸術系大学と大学病院が協同したデジタルアート

村上 史明 (筑波大学芸術系 助教)

【第4回】11/11(金) イギリスのヘルスケア分野のデジタルアート

Trystan Hawkins トリスタン・ホーキンス (CW+ アートディレクター / 療養環境ディレクター)

※CW+はChelsea and Westminster Hospitalのチャリティ財団

阿部 順子 (相山女学園大学 准教授)

【第5回】11/18(金) フランスのヘルスケア分野のデジタルアート

Raphael Vialle ラファエル・ヴィアル (Art dans la cité 代表 / パリ第6大学 ピエール&マリ・キュリー大学 アルマン・トルソー病院小児整形外科部長 / 教授)

Rachel Even レイチェル・イーブン (Art dans la Cité 事務局長)

※Art dans la citéはフランスのヘルスケアアート団体

亀井 克之 (関西大学 教授)、シベルタン 由季子 (通訳)

後援: NPO法人コミュニアル、日本リスクマネジメント学会

【第6回】12/2(金) 希望者による事例発表、振り返り

鈴木 賢一 (名古屋市立大学 教授)



吉岡 純希



高橋 真理子



村上 史明



Trystan Hawkins



Rachel Even



Raphael Vialle



鈴木 賢一

これらの事業のほか**全国サミット**を**2023年2月**に開催予定です。そちらもぜひご参加ください!

募集要項 注意事項

- ヘルスケアアートやそのマネジメントに携わりたいという意志のある方向けの企画です。
- Zoomの利用ができる方 ※PC・タブレット・スマホのいずれかとネット環境(光回線の有線接続、高速 Wi-Fi 推奨)が必要です。
- 1の学習会や2の企画ワークショップは基本的にはすべての回にご参加ください。
- 最新の情報をホームページや SNS でご案内しています。合わせてご確認ください。
- 内容やスケジュール、回数などは変更となる場合があります。
- 規定によって、受講生に謝礼や交通費のお支払いはできません。

申込方法 左の募集要項・注意事項もご一読ください。

ホームページの申し込みフォームから送信ください。

<https://healthcare-art.net>



※HPの申込フォームから送信後、送信確認メール(自動返信)が届かない場合は、メールまたはHPのお問合せフォームからその旨ご連絡ください。
※申込期限内であっても定員に達した場合は、受付を終了する場合があります。
※申し込みの方には初回開催までに参加用のZoomURLなどをメールでお送りします。
※応募者が多数となった場合、参加条件を満たした方の中から選考させていただきます。複数の事業への申し込みも歓迎いたしますが、応募者多数の場合は一部の事業のみの参加をお願いする場合がございます。
※定員を設けていますので、申し込み後に参加ができなくなった場合は、その旨事務局までお知らせください。